

玉野市学校施設の個別施設計画

令和3年3月

玉野市教育委員会

はじめに

本計画は、国が平成 25 年 11 月に策定した「インフラ長寿命化計画」に基づき玉野市が平成 29 年 2 月に策定した「玉野市公共施設等総合管理計画」の教育施設系の個別施設計画で、令和 2 年度末までに策定することとされているものです。

本来であれば、今後は本計画に基づいた施設管理を行うべきところですが、本市では令和 3 年度から「玉野市立学校将来計画」の策定を通じて市立学校の適正規模化の議論をすすめることを予定しており、現時点において個別の施設について管理計画を策定できる段階にはありません。

文部科学省は、本市のような自治体に対し、「今後の計画を踏まえ、改定のタイミングで計画に反映することとし、まずは現状の規模や機能を維持すると仮定するなどして、計画を策定することが重要」「現状維持の場合の将来コストを明らかにすることは、適正規模化の検討にも資すると考えられる」「まずは現状施設の維持を前提に計画を策定し、その後検討が進むなどした場合に計画に反映できるように」と対応策を示しています。

以上を踏まえ、現時点においては、本計画を「玉野市立学校将来計画」の基礎資料と位置づけ、「玉野市立学校将来計画」の策定のタイミングで改訂することとします。

ケース別の維持・更新コストの試算や、本計画後半にある「校舎等大規模改造年次計画」は、今後の改訂を前提に、「現状の分析」として掲載するものです。

1 目次

1 学校施設の個別施設計画の背景・目的等	1
(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	2
2 学校施設の目指すべき姿	3
3 学校施設の実態	4
(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
①対象施設一覧	4
②園児・児童生徒数及び学級数の変化	5
③幼稚園・小・中・高等学校の配置状況	7
④施設関連経費の推移	8
⑤学校施設の保有量	9
⑥今後の維持・更新コスト（従来型）	10
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	11
①構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	11
②今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）	16
4 学校施設整備の基本的な方針等	17
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	17
①学校施設の長寿命化計画の基本方針	17
②学校施設の規模・配置計画等の方針	18
(2) 改修等の基本的な方針	20
①長寿命化の方針	20
②目標使用年数、改修周期の設定	21
5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	22
(1) 改修等の整備水準	22
(2) 維持管理の項目・手法等	23
6 長寿命化の実施計画	24
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	24
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～	28
7 長寿命化計画の継続的運用方針	29
(1) 情報基盤の整備と活用	29
(2) 推進体制等の整備	29
(3) フォローアップ	29

1 学校施設の個別施設計画の背景・目的等

(1) 背景

高度経済成長期の人口の急増にあわせ、全国的に公共施設が整備されてきました。

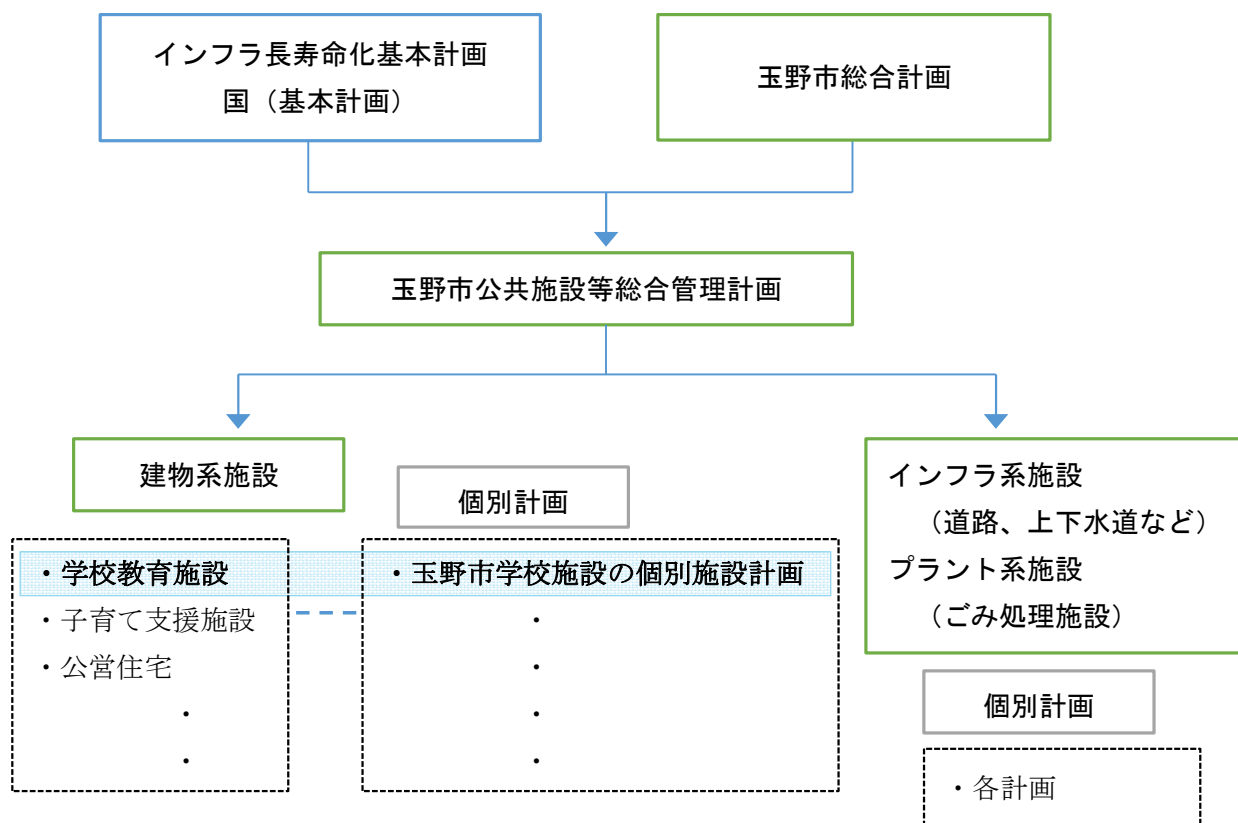
本市の学校施設は児童生徒数の増加や、老朽化した木造校舎の改築等に伴い、昭和 45 年度から昭和 61 年度までの間に建築が特に集中しており、老朽化が進んでいます。

このような状況の下、改築、改修、維持補修に多額の経費が見込まれています。安全・安心・快適な教育環境を確保していくため、本市の人口規模や財政規模などを踏まえた学校施設の維持管理等が課題となっています。改築をできるだけ回避し、現有施設を長期間使用するための改修を行うことで、施設整備にかかるトータルコストを抑制する必要があります。

(2) 目的

「玉野市学校施設の個別施設計画（以下「本計画」という。）」は、学校施設に求められる安全性・機能性を確保しつつ施設を可能な限り長く使用するため、施設の現状調査や分析により今後の施設整備方針を設定し、中長期的な維持管理等にかかるトータルコストの縮減、予算の平準化を図ることを目的として策定します。

なお、本計画は「玉野市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 2 月）」に基づく学校教育系施設の個別計画として位置づけ、策定していくこととします。



(3) 計画期間

令和3年度～令和38年度までの36年間とします。

※「玉野市公共施設等総合管理計画（平成29年2月）」の計画期間と合わせています。

※計画の見直しは、「玉野市公共施設等総合管理計画」の約10年毎の見直しに合わせて行うことを基本としますが、事業の進捗状況や社会情勢の変化を考慮して、必要に応じて行います。

(4) 対象施設

本市が保有する幼稚園・小中学校・高等学校を対象とします。なお、全小中学校において、学校給食の調理等の業務を共同で行っていることから、共同調理場も対象とします。

また、今後の計画の見直しや国の動向及び社会ニーズの変化に応じて、個々の整備についても検討します。

学校施設	
幼稚園	6 園
小学校	14 校
中学校	7 校
高等学校	2 校

学校給食共同調理場	
共同調理場	2 施設

2 学校施設の目指すべき姿

「玉野市教育行政重点施策」に掲げる、心豊かでたくましく生きる人間を育てる教育保育を推進するため、安全で適切な教育保育環境の提供に向けて、次のような学校施設を目指します。

○安全性

- ・地震に強い学校施設
- ・防災機能を備えた学校施設

○快適性

- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境
- ・バリアフリーに配慮した環境

○学習活動への適応性

- ・習熟度別指導や少人数教育などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間
- ・学習効果を高めるための I C T 環境

○環境への適応性

- ・環境を配慮した学校施設

○地域の拠点化

- ・地域に開かれた学校とするための環境

3 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

①対象施設一覧

R02施設台帳より

(R2.7現在)

名称			住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	園児数 (人)	学級数 (学級)
幼稚園	1	田井幼稚園	玉野市田井3-22-36	817	S47	61	4
	2	宇野幼稚園	宇野2-14-16	800	S45	34	3
	3	和田幼稚園	和田6-12-2	761	S14	24	3
	4	日比幼稚園	御崎2-3-7	858	S41	17	2
	5	荘内幼稚園	用吉1102	683	S43	82	5
	6	荘内南幼稚園	滝58	575	S54	31	3
幼稚園 計				4,494		249	20

名称		住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
					通常学級	特別支援	通常学級	特別支援	
小学校	1	田井小学校	玉野市田井3-4-1	5,046	S49	331	11	12	2
	2	築港小学校	築港3-15-1	4,096	H7	88	5	6	1
	3	宇野小学校	宇野2-23-1	4,243	S58	185	8	6	2
	4	玉小学校	玉6-20-22	3,509	H23	92	8	6	2
	5	玉原小学校	玉原2-22-1	4,961	S51	144	12	7	3
	6	日比小学校	御崎1-1-1	3,666	S47	109	6	6	2
	7	第二日比小学校	明神町1-1	5,094	S54	107	10	6	2
	8	山田小学校	山田422	3,266	H6	67	4	6	1
	9	後閑小学校	後閑1421	2,712	S49	30	2	4	1
	10	荘内小学校	木目498	5,490	S42	673	40	24	7
	11	八浜小学校	八浜町波知29	3,991	S40	162	8	6	1
	12	大崎小学校	東七区3-3	3,422	S47	84	9	6	2
	13	鉾立小学校	北方1274	3,008	S8	73	1	6	1
	14	胸上小学校	梶岡639	3,554	S57	72	3	6	1
小学校 計			56,058		2217	127	107	28	
中学校	1	宇野中学校	玉野市築港2-27-1	7,834	H2	320	8	10	2
	2	玉中学校	奥玉1-27-1	5,102	S51	133	9	5	2
	3	日比中学校	和田6-13-1	7,132	H3	133	6	5	2
	4	山田中学校	後閑1995	2,836	S41	67	2	3	1
	5	荘内中学校	木目1373	5,048	S57	330	11	11	2
	6	八浜中学校	八浜町八浜1438	3,267	S49	111	1	5	1
	7	東児中学校	北方444	3,655	S32	80	4	3	1
中学校 計			34,874		1174	41	42	11	
小・中学校 合計			90,932		3391	168	149	39	

名称			住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	生徒数(人)			学級数 (学級)
						ビジネス情報科	機械科	普通科	
高校	1	玉野商工高等学校	玉野市玉6-1-1	8,642	S47	300	-	-	9
						-	94	-	3
	2	玉野備南高等学校	和田4-7-1	3,828	S43	-	-	57	4
高校 計				12,470		300	94	57	16

共同調理場

1	学校給食センター	玉野市玉原2-16-43	1,294	S45
2	学校給食センター 東児調理場	梶岡691-6	653	S47

※建築年度は、教室棟・特別教室棟で最も古い建物の建築年を採用

②園児・児童生徒数及び学級数の変化

園児数・学級数の推移

(人)、(学級)

	これまでの推移									将来推計			
	1977	1981	1986	1991	1996	2002	2006	2011	2016	2021	2026	2031	2036
	昭 52	昭 56	昭 61	平 3	平 8	平 14	平 18	平 23	平 28	令 3	令 8	令 13	令 18
幼稚園 園児数	1,795	1,588	1,187	787	544	625	537	391	324	235	215	195	175
学級数	55	54	43	32	25	32	29	28	21	20	19	18	17

※1986（昭 61）年については、推計値

児童生徒数の推移

(人)

	これまでの推移									将来推計			
	1976	1981	1986	1991	1996	2001	2006	2011	2016	2021	2026	2031	2036
	昭 51	昭 56	昭 61	平 3	平 8	平 13	平 18	平 23	平 28	令 3	令 8	令 13	令 18
小学校 児童数	6,881	8,000	6,533	5,155	4,343	3,663	3,624	2,976	2,507	2,366	2,154	1,837	1,595
中学校 生徒数	3,108	3,417	4,004	3,171	2,494	2,054	1,756	1,655	1,467	1,256	1,204	1,107	966
高 校 生徒数	959	869	909	896	668	651	584	504	469	489	485	485	485
合計	10,948	12,286	11,446	9,222	7,505	6,368	5,964	5,135	4,443	4,111	3,843	3,429	3,046

学級数の推移

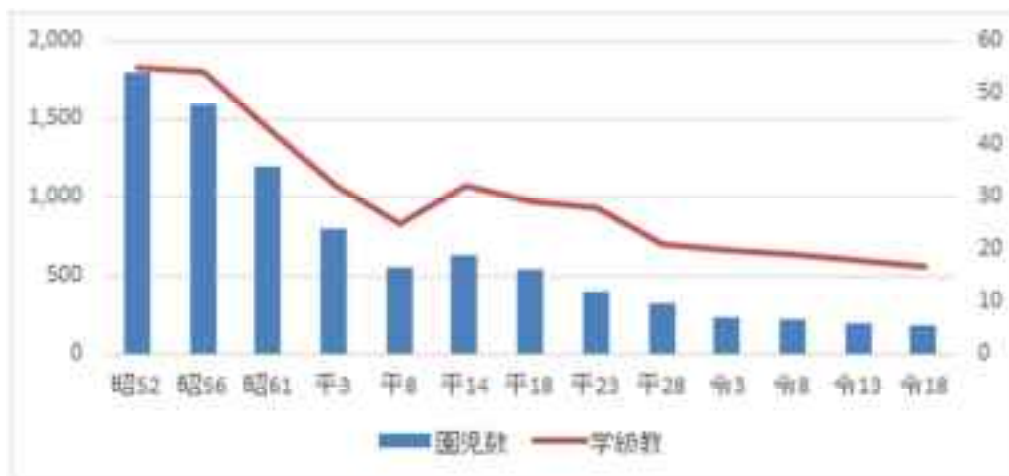
(学級)

	これまでの推移									将来推計			
	1976	1981	1986	1991	1996	2001	2006	2011	2016	2021	2026	2031	2036
	昭 51	昭 56	昭 61	平 3	平 8	平 13	平 18	平 23	平 28	令 3	令 8	令 13	令 18
小学校	204	238	207	191	167	152	149	151	135	130	125	124	114
中学校	85	90	103	93	75	66	59	60	58	55	53	45	44
高 校	28	26	26	26	23	23	20	16	16	16	16	16	16
合計	317	354	336	310	265	241	228	227	209	201	194	185	174

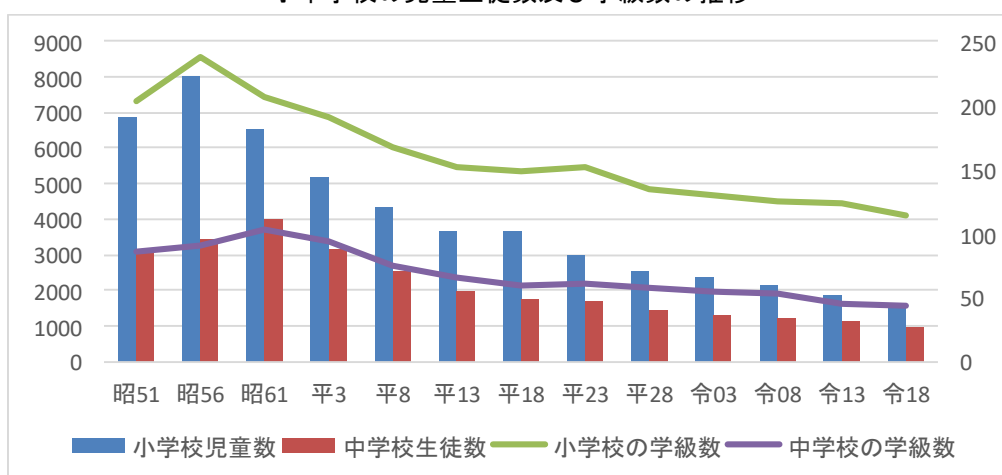
玉野市公共施設等総合管理計画では、本市の人口は昭和 50 年をピークに減少が続いており、将来人口推計結果で人口減少がさらに進むと推計されています。児童生徒数の将来推計についても、約 20 年後の児童生徒数は現在より 30%減となっています。

※将来推計の学級数は、人口推計より学級数を算出し、小中学校の場合は特別支援学級を加算するため 1.25 を乗じた数値としています。

幼稚園の園児数及び学級数の推移



小中学校の児童生徒数及び学級数の推移



高等学校の生徒数及び学級数の推移



③幼稚園・小・中・高等学校の配置状況

玉野市内の幼稚園の園児数や小中高等学校の児童生徒数は、全ての学校施設において、今後減少することが推計されています。

幼稚園については、現在6園ありますが、ほかに保育園が4園、認定こども園が6園あります。

小中学校については、令和2年度は下表のとおり17校が小規模校となっています。

規模別の学校数			
分類		小学校数	中学校数
大規模	19学級～	1（荘内小）	0
標準的な規模	12～18学級	1（田井小）	2（宇野中、荘内中）
小規模	～11学級	12	5

高等学校については、普通科が1校、ビジネス情報科・機械科が1校となっています。

④施設関連経費の推移

平成 27 年度から平成 31 年度において、本市の学校施設における関連経費は下表のとおりです。施設関連経費について、5 年間の平均は約 4.9 億円であり、平成 31 年度は 4.5 億円となっています。

学校施設関連経費

単位：円

	H27	H28	H29	H30	H31 (R01)	5 年平均
施設整備費	734,174,160	365,857,760	98,431,200	141,010,200	278,694,680	323,633,600
その他施設整備費	11,615,000	8,443,840	14,541,120	7,764,882	27,973,600	14,067,688
維持修繕費	34,186,717	30,428,156	37,021,986	31,668,233	31,116,850	32,884,388
光熱水費・委託費	144,387,053	114,161,867	115,879,042	122,375,092	114,435,247	117,574,951
合計	900,998,383	518,891,623	265,873,348	302,819,407	452,220,377	488,160,627

○施設整備費（校舎、体育館）

工事関係委託料、仮設校舎借上料、工事請負費

※対象建物の大規模改修や改築に相当する費用を含む施設整備費（耐震補強に相当するものは除く）

○施設整備費（その他）

プール、グラウンド等の施設整備費

○維持修繕費

施設修繕料

○光熱水費

燃料費、電気料、水道料、下水道料

○委託費

浄化槽清掃、便所清掃、学校警備、自家用電気工作物保安業務、受水槽清掃、各委託料

※給食センターにおける輸送業務は除く

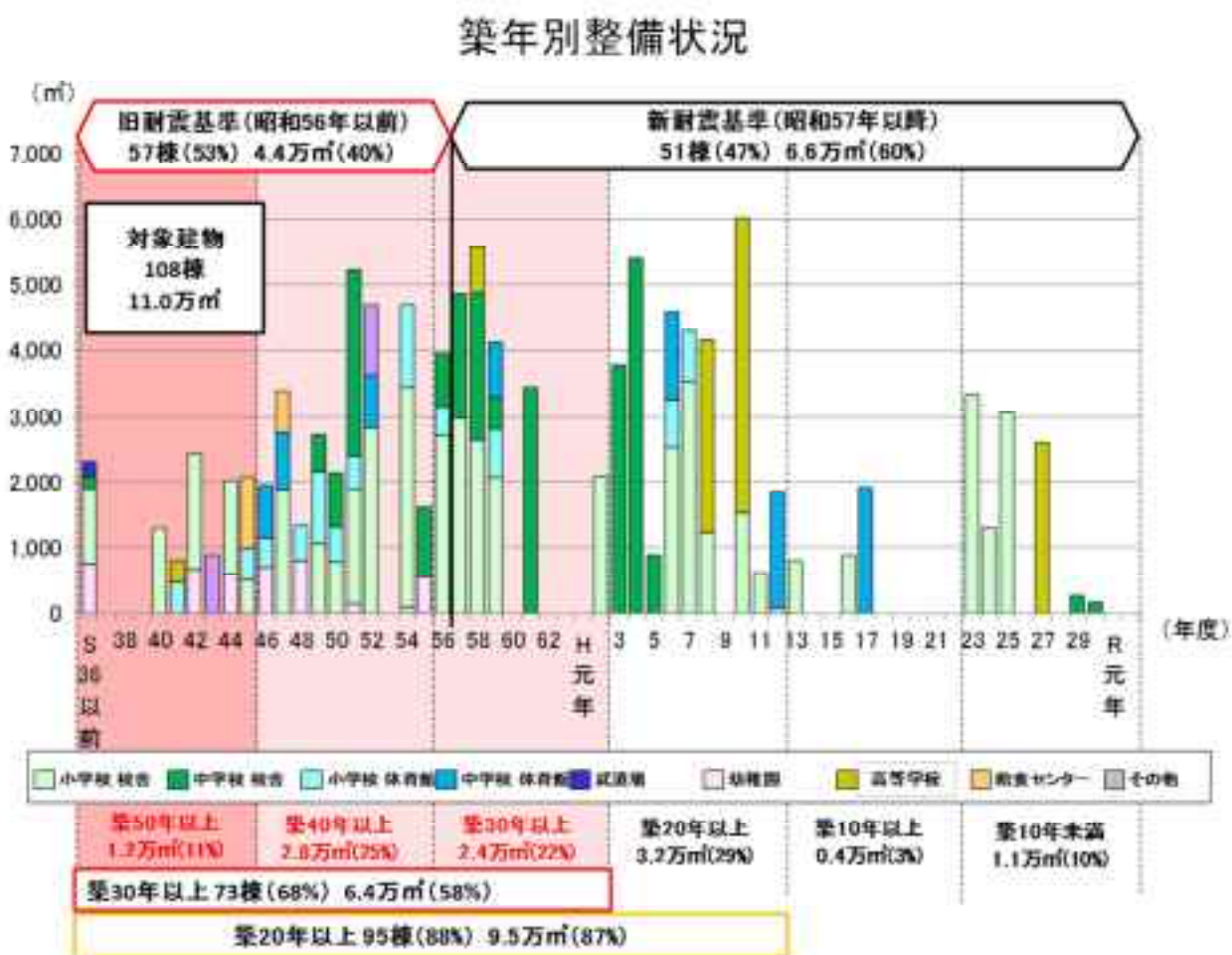
⑤学校施設の保有量

建築年別の学校施設の保有量は以下のとおりです。

築30年以上の建物が58%であり、施設の劣化が進んでおり、大規模改造が必要な時期を迎えています。

また、築50年以上の建物は建替を計画する時期を迎えています。築40年以上の建物が大量に控えており、今後の維持・更新コストを考える上で、長寿化による対応の可能性を検討する必要があります。

なお、平成23～25年度に建築した建物は、旧耐震基準（昭和56年以前）の建物について耐震診断を行った結果、耐震補強が不可能と判定された建物の改築によるものです。



⑥今後の維持・更新コスト（従来型）

現在の学校施設を従来の考え方で維持し続けた場合に必要となる維持・更新コストの試算は以下のとおりです。

試算の条件：改築周期を 50 年、大規模改造周期を 20 年とした場合

「従来型」の場合、今後 40 年間のコストは、平均 12.8 億円／年となり、過去（直近 5 年間）の施設関連経費の平均 4.9 億円／年に対し、2.6 倍となります。



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より
玉野市教育委員会教育総務課による試算

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

①構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

○構造躯体の健全性の評価

新耐震基準の建物については「長寿命」として試算しています。

旧耐震基準で耐震補強済みまたは耐震診断で耐震性ありの建物のうち、RC造の建物は、耐震診断時のコンクリート圧縮強度が13.5N/mm²超であることから、「長寿命」として試算しています。S造及び木造で、概ね築45年以上のものについて、腐食や劣化の著しいもの（健全度50点未満）は「要調査」として試算上は「改築」としています。

なお、工事実施段階では、構造体の劣化状況等（コンクリート圧縮強度や中性化深さなど）について調査を行い、あらためて整備方針を判断する必要があります。

躯体の詳細な調査			
	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
調査	現地目視調査及び材料調査	現地目視調査	現地目視調査
評価 項目 (例示)	・コンクリート圧縮強度 ・中性化深さ ・鉄筋かぶり厚さ ・鉄筋腐食状況 ・屋上、外壁の漏水状況	・筋かいのたわみ ・鉄骨腐食状況 ・非構造部材の取付部、設備、二次部材安全性 ・屋根、外壁の漏水状況	・土台、柱、梁の腐朽 ・柱、梁の傾斜 ・床のたわみ、床鳴り ・屋根、外壁の漏水状況



躯体の詳細な調査に加えて経済性や教育機能上などの観点から総合的に判断する



○構造躯体以外の劣化状況評価

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価しています。

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

上記により評価した結果は、次表のとおりです。

施設の健全性・劣化状況の評価結果

A 軽微な劣化 B 軽微な劣化 C 広範囲に劣化 D 劣化に劣化 E 劣化に劣化

要修年度以上 要修年度以上 要修年度以上

建物基本情報										構造要体の健全性					劣化状況評価					備考
通し 番号	学校 調査 番号	屋号名	建物名	建物 番号	固定 資産 番号	用途区分		延床 面積 (㎡)	構造	建築 年数	耐震安全性		長期劣化判定		躯体 劣化 状況	内 装 劣 化 状況	外 装 劣 化 状況	躯体 劣 化 状況	躯体 劣 化 状況	
						学校種別	建物用途				基礎 強度	柱脚 強度	調査 年度	評価 年度						
1	145	田井小	校舎	1	331	小学校	校舎	330	RC	2	1974	54	田	済	済	済	A	A	A	91
2	145	田井小	体育	2	332	小学校	体育館	330	S	1	1975	55	田	済	済	済	A	A	A	100
3	145	田井小	校舎	3	333	小学校	校舎	331	RC	3	1977	55	田	済	済	済	A	B	A	91
4	145	田井小	校舎	4	334	小学校	校舎	331	RC	3	1977	55	田	済	済	済	A	A	A	100
5	145	田井小	校舎	5	335	小学校	校舎	331	RC	3	1977	55	田	済	済	済	A	A	A	100
6	147	葉巻小	体育	6	336	小学校	体育館	332	S	2	1979	54	田	済	済	済	A	C	C	55
7	147	葉巻小	校舎	7	337	小学校	校舎	332	RC	3	1980	55	田	済	済	済	A	B	B	77
8	147	葉巻小	校舎	8	338	小学校	校舎	332	RC	3	1980	55	田	済	済	済	A	B	B	77
9	147	葉巻小	校舎	9	339	小学校	校舎	332	RC	3	1980	55	田	済	済	済	A	B	B	77
10	148	宇野小	体育	10	340	小学校	体育館	333	S	1	1981	54	田	済	済	済	A	C	C	29
11	148	宇野小	校舎	11	341	小学校	校舎	333	RC	4	1983	53	田	済	済	済	A	C	B	67
12	148	宇野小	校舎	12	342	小学校	校舎	333	RC	4	1984	53	田	済	済	済	A	B	B	75
13	148	宇野小	校舎	13	343	小学校	校舎	333	S	1	1984	54	田	済	済	済	A	C	C	37
14	149	玉小	校舎	14	344	小学校	校舎	334	RC	2	1981	54	田	済	済	済	A	A	A	100
15	149	玉小	校舎	15	345	小学校	校舎	334	RC	2	1981	54	田	済	済	済	A	A	A	100
16	149	玉小	校舎	16	346	小学校	校舎	334	RC	2	1981	54	田	済	済	済	A	A	A	100
17	151	日比小	校舎	17	347	小学校	校舎	335	RC	3	1972	54	田	済	済	済	A	A	A	95
18	151	日比小	体育	18	348	小学校	体育館	335	S	1	1974	54	田	済	済	済	A	C	C	43
19	151	日比小	校舎	19	349	小学校	校舎	335	RC	2	1982	53	田	済	済	済	A	B	B	72
20	151	日比小	校舎	20	350	小学校	校舎	335	RC	2	1982	53	田	済	済	済	A	A	A	100
21	152	第二日比小	校舎	21	351	小学校	校舎	336	RC	3	1979	54	田	済	済	済	A	C	B	67
22	152	第二日比小	校舎	22	352	小学校	校舎	336	RC	3	1981	53	田	済	済	済	A	B	B	72
23	152	第二日比小	校舎	23	353	小学校	校舎	336	S	1	1984	53	田	済	済	済	A	B	B	75
24	153	山田小	校舎	24	354	小学校	校舎	337	RC	3	1984	53	田	済	済	済	A	B	B	77
25	153	山田小	校舎	25	355	小学校	校舎	337	RC	3	1984	53	田	済	済	済	A	B	B	77
26	153	山田小	校舎	26	356	小学校	校舎	337	S	1	1984	53	田	済	済	済	A	B	B	75
27	154	葉巻小	校舎	27	357	小学校	校舎	338	RC	2	1974	54	田	済	済	済	A	A	A	91

建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考		
通し 番号	学校 設置 番号	棟番号	建物名	棟名	用途区分	構造	延床 面積 (㎡)	建築 年次	築年 数	耐震 性能 等級	耐震 性能 等級 区分	長寿命化判定	屋根	外壁	内部 仕上	電気 設備	暖気 設備	排水 設備	衛生 設備			
28	154	緑陽小	屋体	3	386	小学校	体育館	5	1	440	1981	356	39	既	済	済	済	済	済	長寿命 B	82	
29	154	緑陽小	校舎	13	382	小学校	校舎	RC	3	887	2004	416	16	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 A	100
30	154	緑陽小	校舎	14-1,2	379	小学校	校舎	RC	2	387	1975	550	45	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	91
31	155	荏戸小	校舎	1-1,2,3,4	384	小学校	校舎	RC	3	1,761	1987	542	53	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	69
32	155	荏戸小	校舎	2-1,2,3	388	小学校	校舎	RC	3	1,431	1983	544	51	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	71
33	155	荏戸小	校舎	3	411	小学校	校舎	RC	2	508	1970	545	50	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	69
34	155	荏戸小	屋体	7	453	小学校	体育館	5	1	542	1974	545	40	既	済	済	済	済	済	済	要調査 D	10
35	155	荏戸小	校舎	11	420	小学校	校舎	RC	3	1,038	1979	554	41	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	85
36	156	八雲小	校舎	3-1,2	414	小学校	校舎	RC	3	1,272	1983	543	53	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	91
37	156	八雲小	屋体	7	426	小学校	体育館	5	1	443	1971	545	49	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	100
38	156	八雲小	校舎	9-1,2	417	小学校	校舎	RC	3	650	1981	556	39	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	78
39	156	八雲小	校舎	16-1,2	419	小学校	校舎	RC	3	1,527	1998	410	22	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 B	91
40	157	大崎小	校舎	44,445,447	444,445,447	小学校	校舎	RC	1	450	1972	547	48	既	済	-	-	-	-	-	長寿命 C	50
41	157	大崎小	屋体	7	461	小学校	体育館	5	1	520	1976	551	44	既	済	-	-	-	-	-	要調査 B	34
42	157	大崎小	校舎	12	449	小学校	校舎	RC	2	832	1982	557	38	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 B	75
43	157	大崎小	校舎	17	450	小学校	校舎	RC	2	626	1989	411	21	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 A	100
44	157	大崎小	校舎	18	449	小学校	校舎	RC	2	300	2001	413	19	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 A	100
45	504	緑三小	校舎	1	479	小学校	校舎	W	1	1,144	1833	30	87	既	済	-	-	-	-	-	改築 A	18
46	504	緑三小	屋体	12	480	小学校	体育館	5	1	521	1979	554	41	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 B	68
47	504	緑立小	校舎	18	430	小学校	校舎	RC	2	1,224	1946	410	24	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 B	75
48	505	駒上小	校舎	15-1,2	481,482	小学校	校舎	RC	3	1,072	1982	557	38	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 C	62
49	505	駒上小	校舎	16-1,2	483,484	小学校	校舎	RC	3	1,063	1983	558	37	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 C	62
50	505	駒上小	屋体	22	486	小学校	体育館	5	2	776	1985	417	25	新	-	-	-	-	-	-	長寿命 D	73
51	158	玉藻小	校舎	1	313	小学校	校舎	RC	3	1,329	1976	551	44	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	71
52	158	玉藻小	校舎	10	318	小学校	校舎	RC	3	1,253	1977	552	43	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	71
53	158	玉藻小	屋体	12	319	小学校	体育館	5	1	720	1979	554	41	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	77
54	158	玉藻小	校舎	16-1,2,3	315	小学校	校舎	RC	2	400	1976	551	44	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	84
55	158	玉藻小	校舎	18	319	小学校	校舎	RC	3	1,196	1977	552	43	既	済	済	済	済	済	済	長寿命 A	71

建物基本情報										構造躯体の健全性				土化状況評価					備考			
通し 番号	学校 設置 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産 台帳 番号	用途区分		構造	延床 面積 (㎡)	建築年度	築年 数	耐震安全性			長年の利用状況			補修 状況				
						学校種別	建物用途			西暦	和暦	基準 適用	評価 結果	評価 基準	評価 年度	評価 年度 (10年)	評価 年度 (10年)	評価 年度 (10年)				
56	3576	宇野中	校舎	20-1.2.3	50344 317	中学校	校舎	RC	3	2,076	1990	H2	新	-	-	-	-	-	77			
57	3576	宇野中	校舎	21-1.2	513514	中学校	校舎	RC	3	1,166	1991	H3	新	-	-	-	-	-	77			
58	3576	宇野中	校舎	20-1.2	513521	中学校	校舎	RC	3	2,286	1992	H4	新	-	-	-	-	-	77			
59	3576	宇野中	校舎	30	622	中学校	校舎	RC	3	981	1993	H5	新	-	-	-	-	-	77			
60	3576	宇野中	体育	21-1.2.3.4	505236	中学校	体育館	SRC	2	1,922	2005	H17	新	-	-	-	-	-	100			
61	3576	五中	校舎	15-1.2.3	511644 318	中学校	校舎	RC	4	2,832	1976	S51	旧	済	済	H23 247	是時	A	B	B	94	
62	3576	五中	校舎	21-1.2	501552	中学校	校舎	RC	3	1,022	1995	S61	新	-	-	-	-	-	75			
63	3576	五中	体育	22-1.2.3.4.5	505356	中学校	体育館	FRS	2	1,766	2000	H12	新	-	-	-	-	-	100			
64	3576	日比中	校舎	15-1.2	570376	中学校	校舎	RC	3	2,607	1991	H3	新	-	-	-	-	-	62			
65	3576	日比中	校舎	16-1.2	570376	中学校	校舎	RC	3	3,116	1992	H4	新	-	-	-	-	-	62			
66	3576	日比中	体育	16	591	中学校	体育館	S	2	1,343	1994	H5	新	-	-	-	-	-	72			
67	3580	山田中	校舎	13	25762	中学校	校舎	W	1	164	2018	H30	新	-	-	-	-	-	100			
68	3580	山田中	体育	7	609	中学校	体育館	S	1	782	1977	S52	旧	済	済	-	-	-	34			
69	3580	山田中	校舎	11	606	中学校	校舎	RC	3	1,040	1980	S55	旧	済	済	H24 31	是時	B	A	B	92	
70	3580	山田中	校舎	12	607	中学校	校舎	RC	3	816	1981	S56	旧	済	-	-	H24 30.8	是時	B	A	B	92
71	3581	窪内中	校舎	18	614	中学校	校舎	RC	4	1,992	1982	S57	新	-	-	-	-	-	68			
72	3581	窪内中	校舎	23	615	中学校	校舎	RC	1	327	1983	S58	新	-	-	-	-	-	62			
73	3581	窪内中	校舎	24	616	中学校	校舎	RC	4	1,920	1983	S58	新	-	-	-	-	-	62			
74	3581	窪内中	体育	20	617	中学校	体育館	S	1	928	1984	S59	新	-	-	-	-	-	76			
75	3582	八浜中	体育	8	639	中学校	体育館	S	2	866	1972	S47	旧	済	済	-	-	-	85			
76	3582	八浜中	校舎	9	632	中学校	校舎	RC	2	571	1974	S49	旧	済	済	H24 30.9	是時	A	A	B	84	
77	3582	八浜中	校舎	12	633	中学校	校舎	RC	2	935	1975	S50	旧	済	-	-	H24 35.4	是時	A	A	B	84
78	3582	八浜中	校舎	15	634	中学校	校舎	RC	2	490	1984	S59	新	-	-	-	-	-	62			
79	3582	八浜中	校舎	17	647	中学校	校舎	W	1	260	2017	H29	新	-	-	-	-	-	100			
80	3737	東見中	武道・校舎	3-1.2	661	中学校	武道場	W	1	200	1957	S32	旧	-	-	-	-	-	10			
81	3737	東見中	校舎	7	652	中学校	校舎	W	1	183	1961	S36	旧	-	-	-	-	-	13			
82	3737	東見中	体育	10	658	中学校	体育館	S	2	709	1971	S46	旧	済	済	-	-	-	45			
83	3737	東見中	校舎	16-1.2.3	63444 508	中学校	校舎	RC	4	2,425	1995	S61	新	-	-	-	-	-	72			

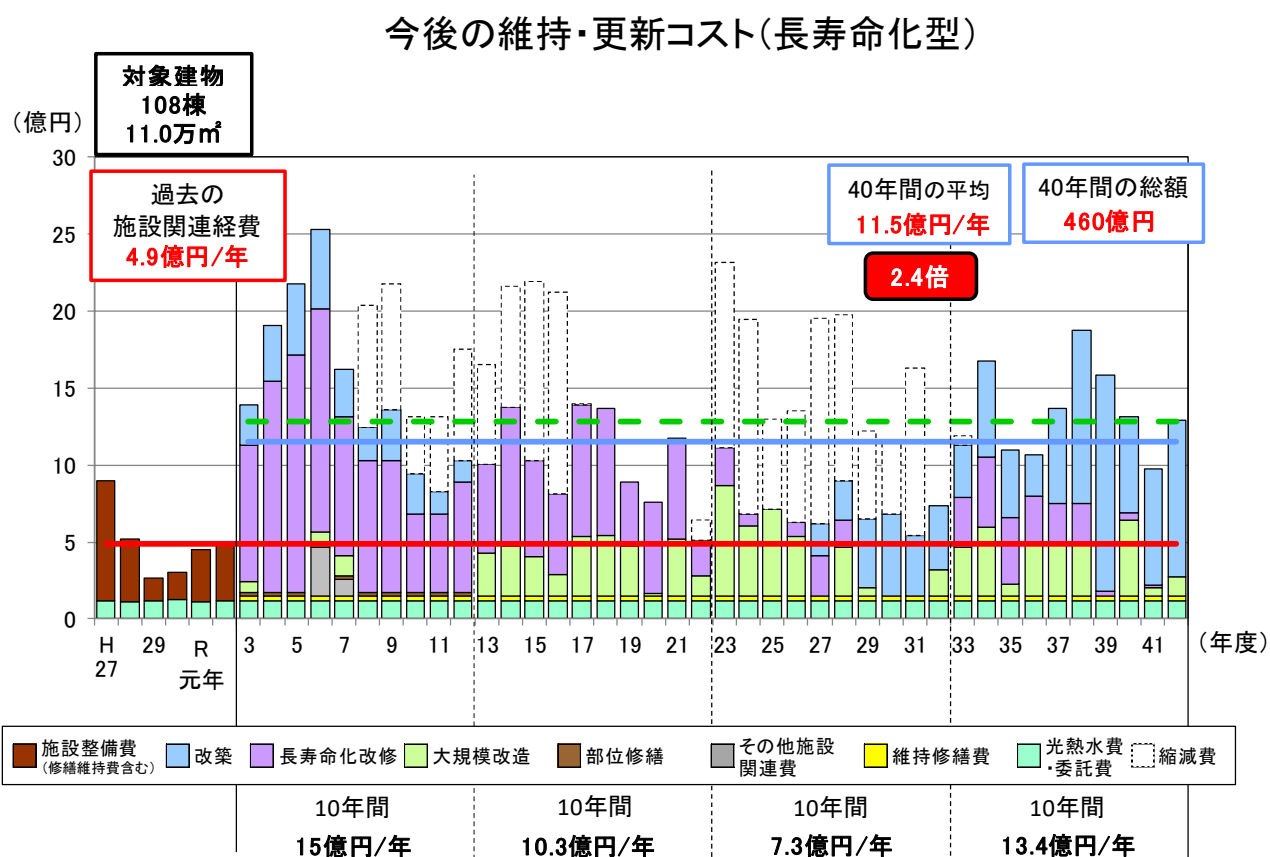
建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況詳細						備考
通し 番号	学校 設置 番号	施設名	建物名	棟番号	国土建 設省 台帳 番号	用途区分	構造	延床 面積 (㎡)	建坪 年数	築 年	耐震 等級	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	調査 年度	
84	5590	理工高	式部 校舎	6-12	679,680	普通学級	鉄骨造	5	2	327	1900	341	54	旧	済	済	済	済	済	済	済	
85	5590	理工高	体育館	15	681	体育館	鉄骨造	3	1	1,075	1977	322	43	旧	済	済	済	済	済	済	済	
86	5590	理工高	校舎	16-12	675,676	普通学級	RC	3	001	1903	358	37	新	-	-	-	-	-	-	-	-	
87	5590	理工高	校舎	18	677	普通学級	RC	5	4,486	1868	480	22	新	-	-	-	-	-	-	-	-	
88	5590	理工高	校舎	24	687	普通学級	RC	5	2	377	2015	467	5	新	-	-	-	-	-	-	-	
89	5590	理工高	校舎	25	688	普通学級	RC	5	4	2,223	2015	467	5	新	-	-	-	-	-	-	-	
90	5617	徳島高	体育館	11	719	普通学級	鉄骨造	3	1	879	1906	343	52	旧	済	済	済	済	済	済	済	
91	5617	徳島高	校舎	13	709	普通学級	RC	3	1,880	1906	466	24	新	-	-	-	-	-	-	-	-	
92	5617	徳島高	校舎	14	709	普通学級	RC	3	477	1906	466	24	新	-	-	-	-	-	-	-	-	
93	5617	徳島高	校舎	15	710	普通学級	RC	3	455	1906	466	24	新	-	-	-	-	-	-	-	-	
94	6664	日比功	校舎	1-12	706,707	普通学級	RC	3	1	671	1907	342	52	旧	-	-	-	-	-	-	-	
95	6664	日比功	校舎	4	708	普通学級	RC	3	1	142	1976	331	44	旧	-	-	-	-	-	-	-	
96	6665	北内功	校舎	1-12	703,704	普通学級	RC	3	1	133	1909	344	51	旧	-	-	-	-	-	-	-	
97	6665	北内功	校舎	2	706	普通学級	RC	3	1	442	1909	344	51	旧	-	-	-	-	-	-	-	
98	6665	北内功	校舎	4	708	普通学級	RC	3	1	88	2000	482	20	新	-	-	-	-	-	-	-	
99	6668	平野功	校舎	1-12	709,710	普通学級	RC	3	262	1971	346	45	旧	済	済	済	済	済	済	済	済	
100	6668	平野功	校舎	2	711	普通学級	RC	3	246	1971	346	45	旧	済	済	済	済	済	済	済	済	
101	6668	平野功	校舎	3	712	普通学級	RC	3	171	1971	346	45	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
102	6668	平野功	校舎	4	713	普通学級	RC	3	122	1971	346	45	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
103	6668	平野功	校舎	5	714	普通学級	RC	3	14	1979	354	41	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
104	6669	和田功	校舎	5	701	普通学級	RC	3	755	1940	316	80	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
105	6670	田井功	校舎	1	706	普通学級	RC	3	746	1979	346	47	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
106	6672	花内康功	校舎	1	708	普通学級	RC	3	580	1980	356	40	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
107	6668	結東セ・ター	結東セ・ター	1	725	結東セ・ター	RC	3	1,068	1970	346	50	旧	-	-	-	-	-	-	-	-	
108	6668	東見園理峰	結東セ・ター	1	732	結東セ・ター	RC	3	1	631	1972	347	48	旧	-	-	-	-	-	-	-	

②今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

現在の学校施設を計画的に、機能向上を図る長寿命化改修、及び機能回復に加えて予防保全を図る大規模改造を行い、建物寿命を80年とする「長寿命化型」の手法を取り入れた場合に、必要となる維持・更新コストの試算は、以下のとおりです。

試算の条件：改築周期を80年、長寿命化改良周期を40年、大規模改造周期を20年とした場合

「長寿命化型」とした場合でも、今後40年間のコストは平均11.5億円となり、過去（直近5年間）の施設関連経費の平均4.9億円／年に対して、2.4倍のコストを必要とします。



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

玉野市教育委員会教育総務課による試算

4 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

①学校施設の長寿命化計画の基本方針

玉野市公共施設等総合管理計画から、学校施設の長寿命化計画の基本方針について、次のとおりとします。

公共施設等総合管理計画の基本方針		
「財政規模、人口規模などの身の丈にあった量」に転換	「安全・安心に利用できる質」を見直し	「維持管理に係るコスト」を可能な限り削減
上記の方針に基づき、平成 68 年度末時点における建物系施設の総床面積を平成 26 年度末との比較で 36%削減 を目指します。		

公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校教育系施設】		
教育の質の確保に配慮し、園児数・児童数・生徒数の減少に応じた学校規模の適正化・適正配置を検討する。	小・中学校においては既にほぼ全ての校舎の耐震化がなされているため、遊休スペースに他の機能を統合するなど、施設の効率的な有効利用を検討する。	保全管理意識を高め、適正な維持管理を行うことにより、長寿命化とライフサイクルコストの削減を図る。



学校施設の長寿命化計画の基本方針		
現在の園・学校規模、配置による計画として整備を進める一方、園児数・児童数・生徒数の減少に応じた検討が進むに従い、随時計画を見直す。	学校施設としての建物の質を計画した上で、他の機能を有効に加えることができるか検討する。	機能回復中心の事後保全に加え、各種点検の結果を踏まえた修繕実施などの予防保全を行う。また目標使用年数まで使用するため、必要な改修の周期を設定し、建物の長寿命化を図る。

※幼稚園については、「玉野市幼保一体化等将来計画（改正版）」により各施設の状況に応じてより具体的な整備計画を進めることとしています。

②学校施設の規模・配置計画等の方針

○ 現状

標準的な規模（12～18学級）でない小・中学校が多い現状であり、さらに児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。高等学校の生徒数も同様だが、現状規模の維持としています。

○ 維持・更新コストの試算

小・中学校の児童・生徒数の減少を踏まえ、一例として、小学校6校、中学校5校とした場合の維持・更新コストを試算します。児童生徒数は令和2年度施設台帳によります。この場合、小学校についてはほぼ標準的な規模となりますが、中学校については4校が小規模となります。

R2年度施設台帳より

	A小	CR	B小	CR	C小	CR	D小	CR	E小	CR	F小	CR
1	62	2	56	2	62	2	105	3	39	2	37	2
2	60	2	47	2	68	2	114	4	50	2	32	1
3	43	2	49	2	62	2	118	4	41	2	35	1
4	61	2	41	2	68	2	113	4	34	1	44	2
5	48	2	39	2	91	3	114	4	41	2	50	2
6	57	2	42	2	103	3	109	4	41	2	45	2
小計	331	12	274	12	238	14	673	23	246	11	243	10
特	11	2	13	2	36	5	40	5	17	3	10	2
計	342	14	287	14	258	19	713	28	263	14	253	12

	A中	CR	B中	CR	C中	CR	D中	CR	E中	CR
1	104	3	82	3	114	4	41	2	45	2
2	122	4	92	3	114	4	43	2	42	2
3	94	3	92	3	102	3	27	1	60	2
小計	320	10	133	9	330	11	111	5	147	6
特	8	1	15	2	11	2	1	1	6	1
計	328	11	142	11	341	13	112	6	153	7

各学校の生徒数(人)を示し、右端(CR)欄に学級数を示す。1学級あたり35人(特学は8人)とする。

3(1)⑥及び3(2)②に示した現在の学校数によるものと同様に、従来型及び長寿命化型のそれぞれにおいて、今後の維持・更新コストを試算しました。

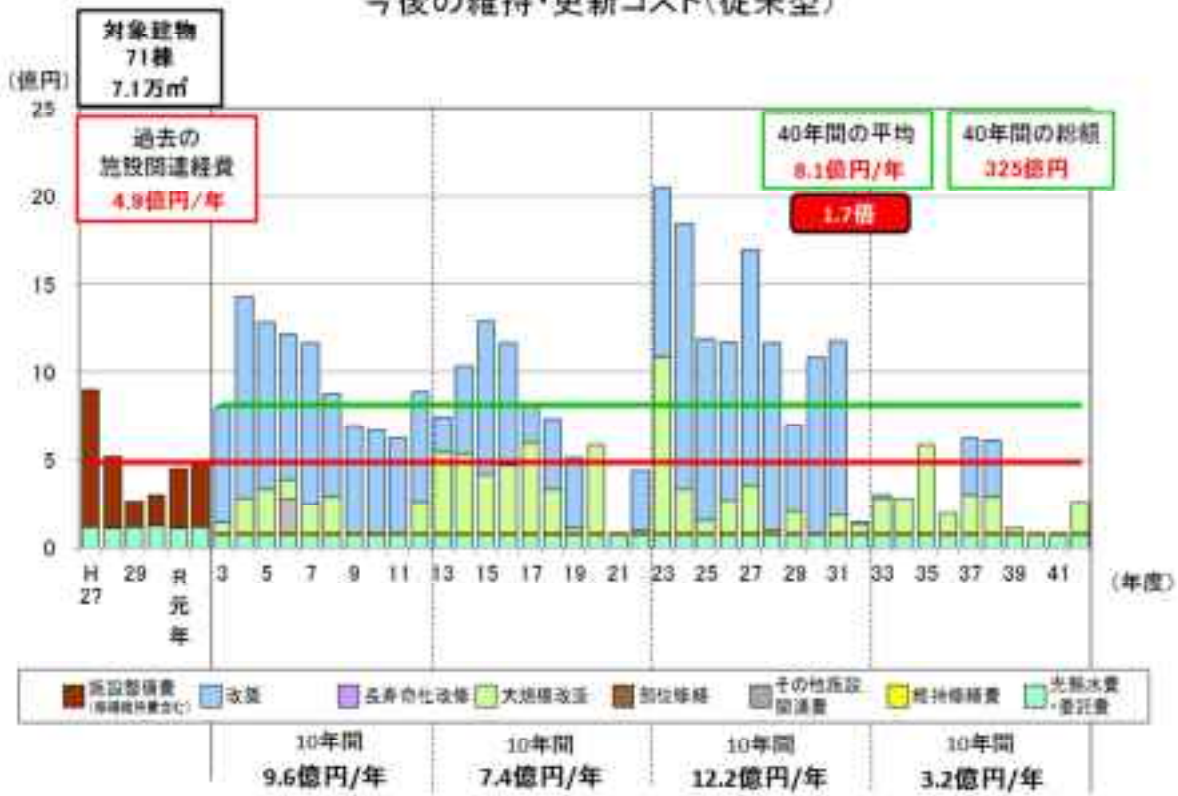
現在の学校の中から小学校6校、中学校5校を選択し、その学校が現在保有する施設を今後、維持管理するものと仮定しました。建物の棟数、床面積は現在の学校数によるものに対し、約55%となります。

施設整備費(その他)、維持管理費、光熱水費、委託料については、現在の60%と想定し試算しました。

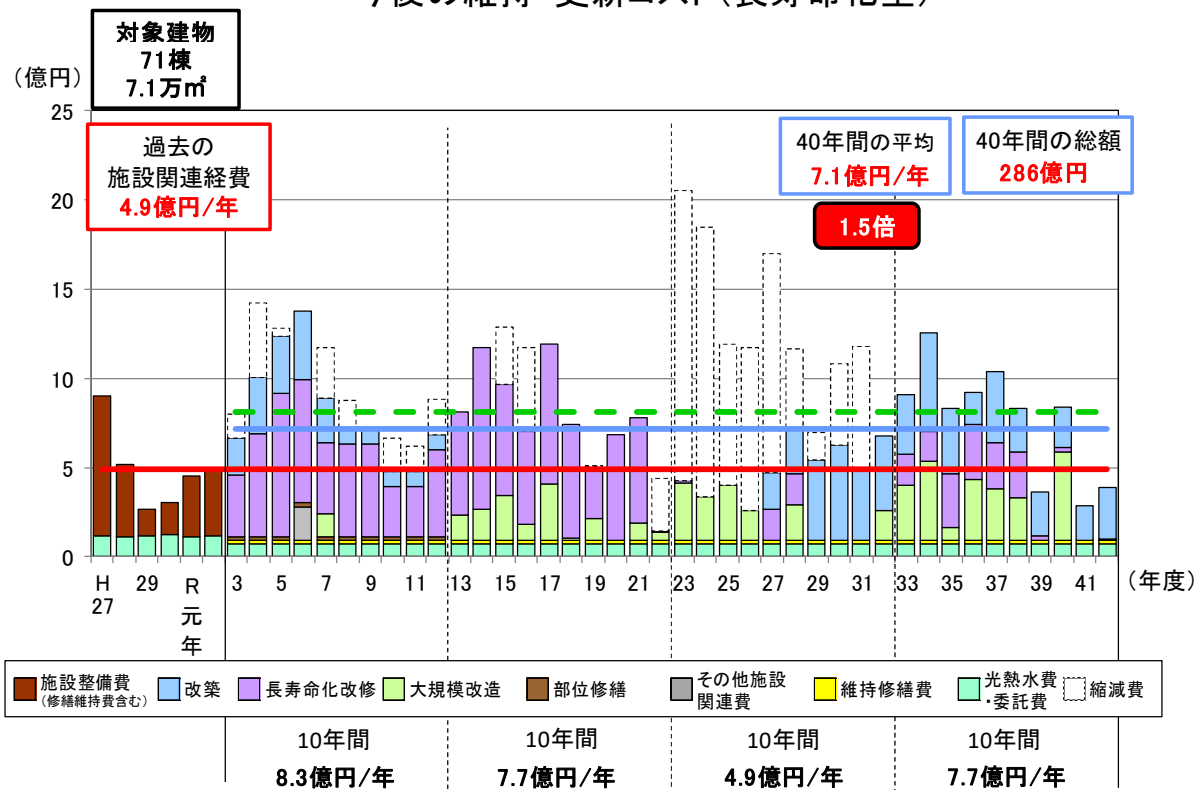
従来型では、今後40年間のコストは平均8.1億円となり、過去(直近5年間)の施設関連経費の平均4.9億円/年に対し、1.7倍となります。

また、長寿命化型では、今後40年間のコストは平均7億円となり、同様に過去の施設関連経費の平均に対し、1.5倍となります。

今後の維持・更新コスト(従来型)



今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より
玉野市教育委員会教育総務課による試算

(2) 改修等の基本的な方針

①長寿命化の方針

厳しい財政状況の下、従来の改築を中心とした老朽化対策を満足に実施することは困難です。中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価な長寿命化改修への転換を図ります。

なお、以下のような建物は除きます。

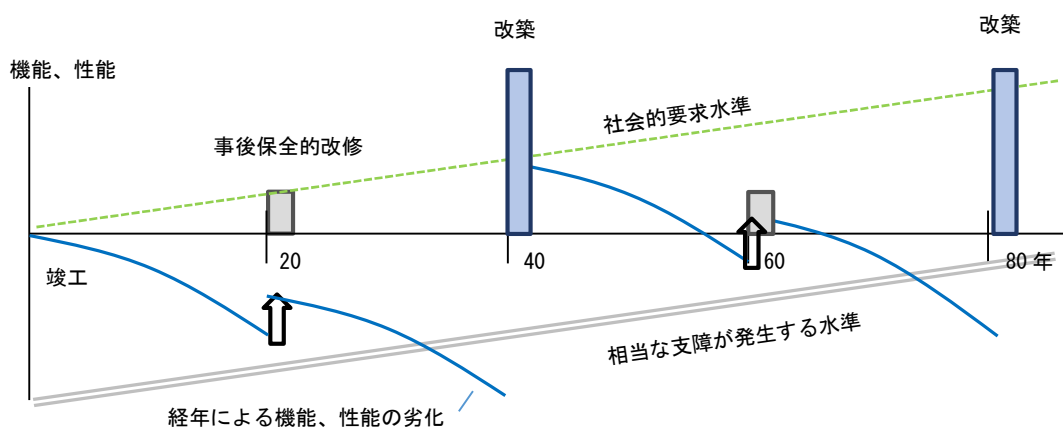
- ・鉄筋コンクリート、鉄骨等構造体の劣化が激しい建物
- ・コンクリート強度が著しく低い建物（おおむね 13.5N/mm^2 以下）
- ・建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設

②目標使用年数、改修周期の設定

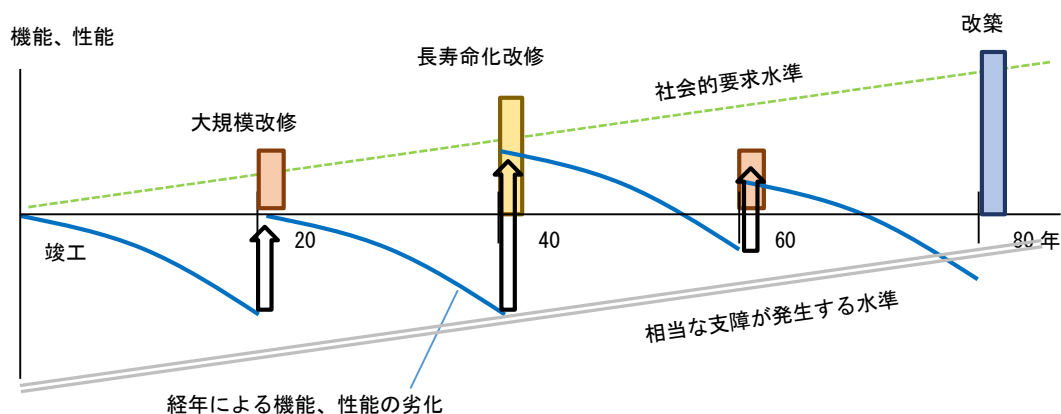
学校施設の長寿命化の方針を、次のとおりとします

	基本的な項目
目標使用年数	躯体の状態が健全な場合は 80 年
対象とする建物	① 概ね築 45 年未満とし、それを超える築年数の建築物は、構造体の劣化状況、機能上などの観点を特に留意する ② 延べ床面積が 200 m ² 以上
修繕・改修・建替えの周期	① 建築後 20 年（大規模改修） ② 建築後 40 年（長寿命化改修） ③ 建築後 60 年（大規模改修） ④ 建築後 80 年（建替え）

従来型の保全



長寿命化型の保全



5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

4 (2) に示した方針に基づき、主な改修・更新の時期を、次のとおりとします。整備内容は個別施設の状況により判断します。

区分	改修・更新項目	従来		長寿命化		
		20 年目	40 年目	20 年目	40 年目	60 年目
		事後保全	事後保全	予防保全 機能回復	長寿命化 機能向上	予防保全 機能回復
建築	屋上防水の更新	△	△	○	○	○
	屋上防水の断熱化				○	
	外壁の改修(表層塗装、鉄部塗装)	△	△	○	○	○
	外壁の改修(躯体中性化対策、鉄筋腐食対策)				○	
	体育館アリーナ床の研磨塗装		△	○		○
	体育館アリーナ床の更新				○	
	建具の更新、断熱化		△		○	
	内装の改修(床・壁・天井等)		△		○	
	小荷物専用昇降機の更新		△		○	
	多目的トイレ整備、床の段差解消				○	
	プールの改修		△		○	
	運動場の改修				○	
電気	照明器具の更新		△	○	○	○
	弱電設備機器の更新、効率化		△		○	
	受変電設備の更新		△		○	
	電気幹線の更新		△		○	
機械	ポンプ等機器の更新		△	○	○	○
	受水槽、給排水管の更新		△		○	
	衛生機器の更新		△		○	
	空調設備の更新	△	△	○	○	○

△：事後保全的な対応が主。(例：雨漏りの後、屋上防水改修)

一部に大規模改造として実施した事例有り。

○：構造躯体を健全に維持するために、計画的に実施。

長寿命化改良については、構造体の劣化状況等について調査を行う必要があり、工事着手までに2～3年を要するものと想定されます。

モデル的に長寿命化改良を実施し、十分検証のうえ、その後の計画に生かすことが必要です。

(2) 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図るためには、定期的な改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検を行い、状況を把握する必要があります。教育委員会事務局（教育総務課）と学校等が連携して、維持管理を行います。

分類	項目	内容	担当
日常点検	各種点検	日常の使用において把握。	学校等
定期点検	各種自主点検	定期的に劣化状況を把握。 把握した要修繕箇所について、小規模なものは修繕を実施し、その他は修繕調書により、教育総務課へ報告。	学校等
	各種法定点検	自主点検で確認できない内容や、法的に定められた内容について、専門業者又は教育総務課等職員により点検。	教育総務課
状況把握		点検の結果をまとめ、修繕及び工事の計画に反映させる。	教育総務課

6 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

○ これまでの実施計画

これまでに小・中学校については耐震補強工事をほぼ完了し、一部の学校では事後保全的な改修として大規模改造工事を行っています。老朽化した建物が多数ある現状から、大規模改造工事を計画的に進める必要がありますが、本市の厳しい財政状況から、予防保全的な機能回復を目的とした工事は十分に実施できていない状況です。

幼稚園・小中高等学校の各建物について、次の条件で大規模改造等を行う場合、今後 10 年間の年次計画は表「校舎等大規模改造年次計画」のとおりとなります。

ア 築 50 年を超える大規模改造済の建物は、築 60 年又は築 70 年まで使用する。

イ 築 40 年を目安に、機能回復を目的とした大規模改造を行う。

しかしながら、これまでに事後保全的な改修を目的とした大規模改造工事を実施した建物では、改修後も不具合箇所が現れ、今後も健全に使用するためには、更なる改修を要する建物もあります。また、令和 11 年度以降は、築 60 年を経過して改築を要する建物が増えはじめ、工事費の増大が想定されます。

○ 長寿命化の実施計画

今後は、長期的に持続可能な計画を策定する必要があります。次のような事業をモデル的にを行い、その成果を検証しながら、施設の長寿命化と組み合わせた実施計画に移行します。

ア. 長寿命化改良のモデル事業として実施

→工事内容、経費、効果などを検証し、計画の見直しへ生かす。

例) 荘内中 18 号棟 (校舎 RC 造、築 38 年経過)

日比小 9 号棟 (屋体 S 造、築 46 年経過)

R03 年度	R04 年度	R05 年度	R06 年度
対象校を確定 改修内容検討	躯体の健全度調査 長寿命化の可否決定し、 改修内容検討	実施設計	工事着手

イ. 構造体の劣化状況等の調査をサンプル的に行う

→築年数が長い建物について長寿命化改良工事の実現性を検証し、計画の見直しへ生かす。

例) 荘内小 1 号棟 (校舎 RC 造、築 53 年経過、H25 大規模改造実施)

宇野小 10 号棟 (屋体 S 造、築 54 年経過、R02 屋根外壁改修実施)

校舎等大規模改造年次計画

大改:大規模改造 長寿命:長寿命化改修
改築:改築

学校・園名	棟番	枝番	区分	構造 階数	建築年月			R02年度 基準 築年数	面積 ㎡	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度	R09年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
					年	月													
田井小	7		校舎	RC2	S	49	3	46	538										
	9		屋体	S1	S	50	2	45	520										
	17		校舎	RC3	S	52	12	43	381										
	18		校舎	RC3	H	23	8	9	1,713										大改
	20		校舎	RC3	H	25	7	7	1,876										
			プール		S	50	7	45			大改								
築港小	9		屋体	S2	S	45	2	50	475										
	16	1、2	校舎	RC3	H	7	3	25	1,380										
	17	1、2	校舎	RC3	H	7	3	25	1,425										
	18		校舎	RC2	H	7	3	25	713										
			プール		S	49	8	46				大改							
宇野小	10	1、2	屋体	S1	S	41	12	54	481										
	18		校舎	RC4	S	58	3	37	1,568		大改								
	21	1、2	校舎	RC4	S	59	2	36	2,072			大改							
			プール		S	46	7	49							大改				
玉小	6		屋体	S1	S	48	2	47	540	大改									
	11		校舎	RC2	H	23	10	9	1,061										大改
	12		校舎	RC2	H	23	10	9	560										大改
	15		校舎	RC2	H	24	12	8	1,304										
			プール		S	48	7	47			大改								
日比小	8		校舎	RC3	S	47	3	48	1,439										
	9		屋体	S1	S	49	3	46	540			大改→長寿命							
	14		校舎	RC2	S	57	3	38	466			大改							
	17		校舎	RC2	H	25	12	7	1,195										
			プール		S	49	7	46			大改								
第二日比小	17	1、2	校舎	RC3	S	54	3	41	2,268										大改
	19		校舎	RC3	S	56	3	39	2,044		大改								
	21		屋体	S1	S	59	2	36	726			大改							
			プール		S	45	8	50			大改								
山田小	18		校舎	RC3	H	6	3	26	1,409										
	19		校舎	RC3	H	6	3	26	1,118										
	20		屋体	S1	H	6	3	26	727										
			プール		S	52	7	43				大改							
後閑小	6	1、2	校舎	RC2	S	49	3	46	527										
	8		屋体	S1	S	56	3	39	440				大改						
	13		校舎	RC2	H	16	2	16	887										
	14	1、2	校舎	RC2	S	50	3	45	787										
			プール		S	58	7	37			大改								
荘内小	1	1～4	校舎	RC3	S	42	3	53	1,761										
	2	1～3	校舎	RC3	S	44	3	51	1,431										
	3		校舎	RC2	S	45	3	50	508										
	7		屋体	S1	S	49	3	46	542		改築								
	11		校舎	RC3	S	54	3	41	1,078			大改							
			プール		S	40	3	55									大改		
八浜小	2	1、2	校舎	RC3	S	40	3	55	1,272										
	7		屋体	S1	S	46	2	49	443										
	9	1、2	校舎	RC3	S	56	3	39	658										
	16	1、2	校舎	RC3	H	10	8	22	1,527										
			プール		H	22	1	10									大改		

学校・園名	棟番	枝番	区分	構造 階数	建築年月			R02年度 基準 築年数	面積 ㎡	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度	R09年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
						年	月												
大崎小	5	1~4	校舎	RC1	S	47	3	48	450										
	7		屋体	S1	S	51	2	44	520			大改							
	13		校舎	RC2	S	57	2	38	832		大改								
	17		校舎	RC2	H	11	7	21	606										
	18		校舎	RC2	H	13	3	19	800										
			プール		S	53	7	42			大改								
鈴立小	1		校舎	W1	S	8	2	87	1,144		改築								
	12		屋体	S1	S	54	2	41	521			大改							
	18		校舎	RC2	H	8	2	24	1,224										
			プール		S	63	7	32								大改			
胸上小	15	1,2	校舎	RC3	S	57	3	38	1,672				大改						
	16	1,2	校舎	RC3	S	58	3	37	1,063					大改					
	22		屋体	S2	H	7	2	25	776										
			プール		S	62	7	33								大改			
玉原小	1		校舎	RC3	S	51	3	44	1,329										
	10		校舎	RC3	S	52	2	43	1,253										
	12		屋体	S1	S	54	2	41	729				大改						
	16	1~3	校舎	RC2	S	51	3	44	403										
	18		校舎	RC3	S	52	2	43	1,196			大改							
			プール		S	54	7	41				大改							

宇野中	20	1~3	校舎	RC3	H	2	3	30	2,078									大改	
	21	1,2	校舎	RC3	H	3	3	29	1,169										大改
	22	1,2	校舎	RC3	H	4	3	28	2,286										
	30		校舎	RC3	H	5	3	27	881										
	31	1~4	屋体	SR02	H	17	7	15	1,922										
玉中	15	1~3	校舎	RC4	S	51	4	44	2,832										
	21	1,2	校舎	RC3	S	61	1	34	1,022					大改					
	22	1~5	屋体	R+S2	H	12	8	20	1,766										
日比中	15	1,2	校舎	RC3	H	3	3	29	2,607										大改
	16	1,2	校舎	RC3	H	4	3	28	3,116										
	18		屋体	S2	H	6	3	26	1,343										
山田中	13		校舎	W1	H	31	3	1	164										
	7		屋体	S1	S	52	2	43	792			大改							
	11		校舎	RC3	S	55	3	40	1,040		大改								
	12		校舎	RC3	S	56	3	39	816		大改								
荘内中	18		校舎	RC4	S	57	3	38	1,892			大改→長寿命							
	23		校舎	RC1	S	58	3	37	327				大改						
	24		校舎	RC4	S	58	3	37	1,920					大改					
	26		屋体	S1	S	59	2	36	828						大改				
八浜中	8		屋体	S2	S	47	3	48	866										
	9		校舎	RC2	S	49	3	46	577										
	12		校舎	RC2	S	50	3	45	835										
	15		校舎	RC2	S	59	2	36	496			大改							
	17		校舎	W1	H	29	3	3	269										
東児中	5	1,2	既通・校舎	W1	S	32	3	63	230		改修移転								
	7		校舎	W1	S	36	10	59	183		改修移転								
	10		屋体	S2	S	46	3	49	799					大改					
	16	1~3	校舎	RC4	S	61	3	34	2,425				大改						

学校・園名	棟番	枝番	区分	構造 階数	建築年月			R02年度 基準 築年数	面積 ㎡	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度	R09年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
						年	月												
商工高	6	1、2	武道	R+S2	S	41	12	54	327										
	15		屋体	S1	S	52	9	43	1,073			大改							
	16	1、2	校舎	RC3	S	58	2	37	681			大改	大改						
	18		校舎	RC5	H	10	9	22	4,489		大改				大改				
	24	1、2	校舎	S2	H	27	3	5	377										
	25		校舎	S4	H	27	5	5	2,223										
備南高	11		屋体	S1	S	43	2	52	878	大改									
	13		校舎	RC3	H	8	7	24	1,999		大改		大改						
	14		校舎	RC3	H	8	7	24	477			大改		大改					
	15		校舎	S2	H	8	7	24	465						大改				

日比幼	1	1、2	校舎	S1	S	42	3	53	671						大改				
	4		校舎	S1	S	51	2	44	146							大改			
荘内幼	1	1、2	校舎	S1	S	44	2	51	153				大改						
	2		校舎	S1	S	44	2	51	442			大改							
	6		校舎	S1	H	12	3	20	88										
宇野幼	1	1、2	校舎	RC2	S	46	3	49	262										
	2		校舎	RC1	S	46	3	49	245						大改				
	3		校舎	RC1	S	46	3	49	171						大改				
	4		校舎	S1	S	46	3	49	22						大改				
	5		校舎	RC1	S	54	12	41	94							大改			
和田幼	5		校舎	W1	S	15	2	80	755				大改						
田井幼	1		校舎	RC2	S	48	2	47	798		大改								
荘内南幼	1		校舎	RC2	S	55	3	40	569					大改					

(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

「3 学校施設の実態」より、今後の維持・更新コストについては、次のとおりです。

小学校：14校、中学校：7校

	従来型	長寿命型
40年間の総額	512億円	460億円
年平均	12.8億円	11.5億円

「4 学校施設整備の基本的な方針等」で例示した、児童数・生徒数の減少を踏まえた学校数での、今後の維持・更新コストについては、次のとおりです。

小学校：6校、中学校：5校

	従来型	長寿命型
40年間の総額	325億円	286億円
年平均	8.1億円	7.1億円

これらの試算から、現在の学校施設数を維持して長寿命化型の整備を行う場合、維持・更新コストは年平均で11.5億円となり、従来型と比較して約1.3億円削減されますが、従来（直近5年間）の年平均4.9億円と比較して約2.4倍のコストを要します。

一方、児童・生徒数の減少を踏まえた学校数に縮小した上で長寿命化型の整備を行う場合、維持・更新コストは従来よりも低い水準に抑えられます。モデル事業として長寿命化改修を行うことで整備水準を検証するとともに、学校規模の適正化・適正配置の検討の進捗も踏まえて本計画を見直すことにより、一層のコスト削減を図ります。

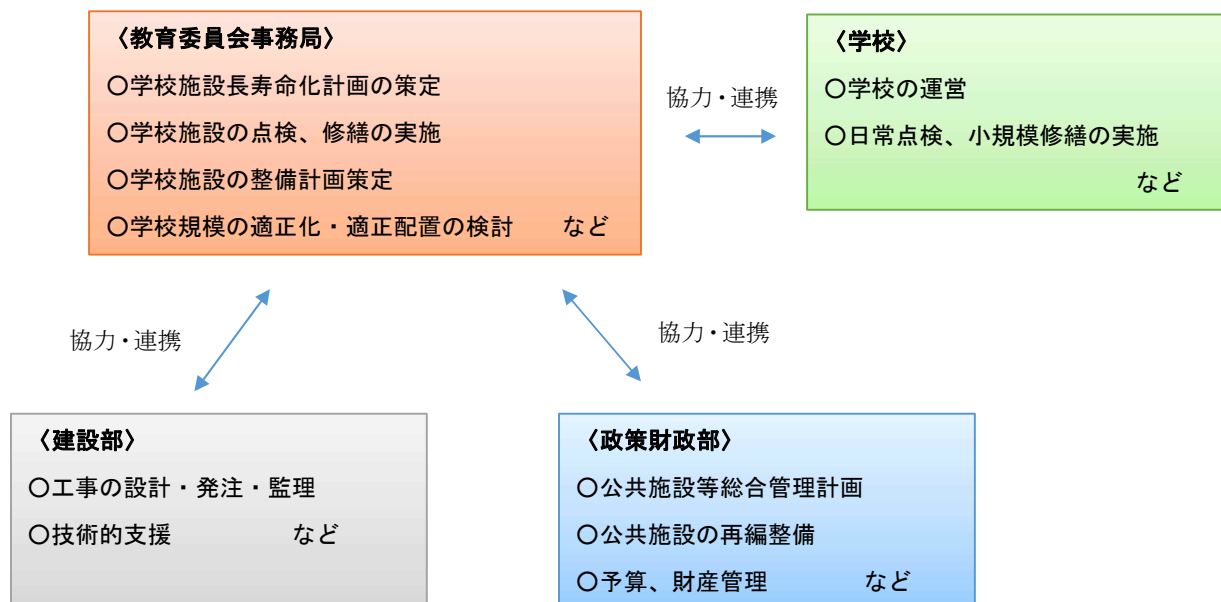
7 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

長寿命化計画の見直し等の基礎資料として、日常及び定期点検の結果等を踏まえた、施設の状態、改修・交換履歴、事故・故障の発生状況等の情報を蓄積し、活用します。

(2) 推進体制等の整備

教育委員会は、各校と連携・協力して劣化状況の的確な把握や学習環境の実態把握を行うとともに、工事の実施や技術的支援を行う営繕担当部局など関係部局と連携を密にします。



(3) フォローアップ

5年毎に進捗状況のフォローアップを行います。また、学校規模の適正化・適正配置の検討の進捗状況等を精査し、必要に応じて長寿命化計画の見直しを行います。